新潟日報 2008年7月8日

第三種郵便物認可　（日刊）　新　潟

汚泥処理剤 生産を強化

エコ・プロジェクト 販売2割増目指す

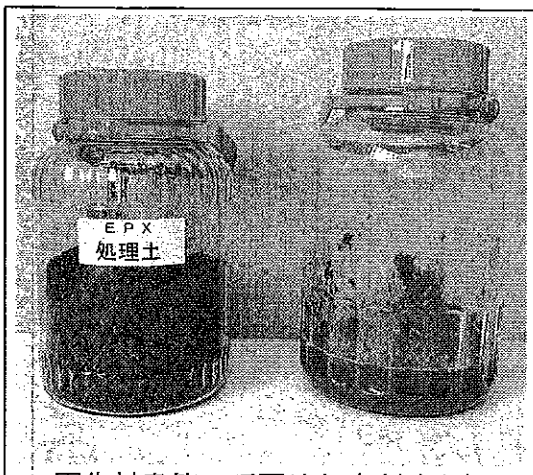
工事現場などで出る泥水や泥土の処理剤を製造、販売する「エコ・プロジェクト」（新潟市中央区）は独自製品の固化材と凝集剤の生産を強化する。環境に優しい点や、処理土の用途の幅広さなどから建設業者の需要が増加。製品を保管するサイロを新たに一基設けるなどして効率的な生産体制を整え、前年比二割増の販売量を目指す。

固化材「泥ん固」は工事現場などで発生する汚泥や汚濁水などに混ぜて固める。製品に含まれる吸水性硬化促進剤などの作用で泥土や泥水に混ぜると水分を吸収、土の塊の中に水分を封じ込める。処理土は強度が高く、再泥化しないため、盛り土や緑化改良材など幅広く再利用でき、県内外の道路改良工事や公園造成などに使われている。

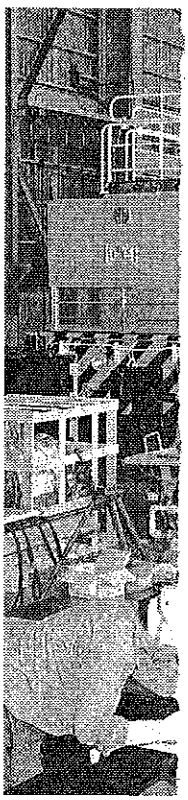
凝集剤「フロックサイト」は大量に発生する泥水を処理する際に使う。トンネル、地下鉄工事現場などで使われることが多く、泥土や泥水を取り扱いやすい塊にしたり、泥水の中の土を固めて浄化したりすることができる。フロックサイトで前処理することで、その後に使う固化材の量を少なくできる。

昨年の販売量は二商品合わせて約二千七百五十トン。五泉市の同社工場にはサイロが二基あったが手狭になり、商品を出荷するまで生産を止めなければならなかった。新たにサイロを設置するほか、凝集剤の材料を混ぜ合わせる装置を増強し、生産能力を引き上げる。事業拡張のため、第四銀などが設立した企業向けファンドから先月、九百万円の投資を受けた。

同社の高橋正男社長は「設備を増強するので、営業をさらに強化して売り上げを伸ばしていきたい」と話している。



固化材を使って固めた土（左）と処理前の泥土


完成したラ
は次の機関
東区の北陸

行きたい南の島 描いてみよう！

小中学生対象 航空会社が絵画募集

新潟―グアム線を運航するコンチネンタル航空は、行ってみたいリゾート地をテーマにした「大好きな南の島―絵画コンテスト」を企画、全国の小中学生の作品を募集する。

対象はグアムやサイパン、パラオ、マニラ、ケアンズなど同社が就航するリゾート地の風景や文化、人などについて描いた作品。小学生、中学生の両部門の各入賞者三人に、絵画に描いた就航地材は絵の具やクレヨン、パステルなどで、鉛筆や木炭などは除く。

絵画のほかに、そのリゾート地を選んだ理由を作文八百字程度にまとめる。応募期間は十五日から八月三十一日まで。

応募資格は小学三年生以上。用紙は八つ切りサイズ（二百七十ミリ×三百八十ミリ）の画用紙で、画

問い合わせは同コンテスト事務局、03（4520）5810。

都内公務員宿舎PFI事業 第四銀など10機関融資

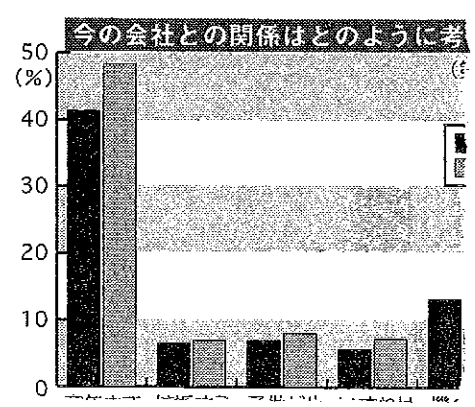
第四銀行（新潟市中央区）など全国の十金融機関で構成する融資団はこのほど、民間資金活用による社会資本整備（PFI）事業として東京都内に公務員宿舎を整備する「HC小金井住宅」（東京）と融資契約を結んだ。融資総額は百十億千三百万円。

同社はマンション建設最大手の長谷工コーポレーション（東京）などが出資する特別目的会社。国の発注を受けて東京都小金井

同融小金井費や維ッシュとするイナンた。融みずほ（東京）損害保した。プレビジにい（NI）ら十一

転職より

新入社員意識調査
第四銀

月末さい た厳しい社会情勢の影響もうかがえる。

会社との関係をどう考えるか―には、「定年まで働きたい」が48・3％で昨年比7・0ポイント増加した。一方、「機会があれば転職したい」は9・3％と同3・9ポイント減少した。また、転職についての考えでは、「多少不満があっても我慢し、転職すべきではない」がトップで